

生活ヲ保證スルニ足ル賃銀ヲ支給シ、以テ船内ニ於ケルソノ全能
力ヲ發揮セシメナケレバナラヌ。吾等ハ既ニ海上最低賃銀制ヲ獲
得シ一見海員生活ノ最少限度ヲ保證サレテキルカノ如キ觀ヲ呈シ
テキルガ、然カモノノ固定化的現象ハ、最低賃銀ヲシテ最高賃銀
化セシメ、家族ノ増員並物價騰貴等ノ不可避の事實ニ對シテ重大
ナル桎梏トナリツ、アル。是レ吾等ガ本案ヲ提出シ海員生活線ノ
上昇ニ對シテ勞働賃銀ヲ適應セシメントスル理由デアル。

實行方法

關係各船主ニ提出シテソノ實現ヲ迫ルコト

第卅號議案 各種手當ノ復舊並ニ獲得ニ關スル件（可決）

説明者 川口支部 西 岡 光太郎

主 文

吾等ハ船内生活ヲ保證シ擴充スルタメ、曩ニ廢減セラレタル年度
手當、航海手當、備船手當、船艙掃除手當、汽爐掃除手當、危險

手當、時間外荷役手當、石炭繰手當、賣船手當、解撒手當、甲板
積荷物手當、防寒手當、服裝手當及大工道具手當ノ復舊ト、未ダ
確立セラレザル是等諸手當ノ確立ヲ期ス

理 由

海運業ノ堅實ナル發達ハ、其ノ原動力タル海員ヲシテ自己及家庭
ノ生活ニ對シ、後顧ノ憂ナク安ンジテ其ノ職務ニ盡瘁セシメザル
限リ是ヲ期待スルコトハ出來ナイ。曩ニ吾等ハ日本海運業ノ不況
打開ノタメニ凡ユル犠牲ヲ忍ンデ此等手當ノ一部ノ廢減ニ甘ンジ
タガ、今ヤ海運情勢ハ急激ニ好轉シツ、アル。此ノ時ニ當ツテ常
ニ薄給ヲ以テ不安ト危險ニ充テル海上勞働ニ從事シツ、アル船員
ノ爲ニ、曩ニ廢減セラレタル諸手當ヲ復舊セシムルト同時ニ、未
ダ此等ノ制度ヲ缺如セル部分ニ對シテ此等制度ノ確立ヲ要望スル
コトハ、人道上並經濟上極メテ合理且ツ公正ナル主張ノミナラズ、
過去數年ニ亙ツテ吾等ガ日本海運衛生ノ爲ニ盡シタル努力ニ對ス